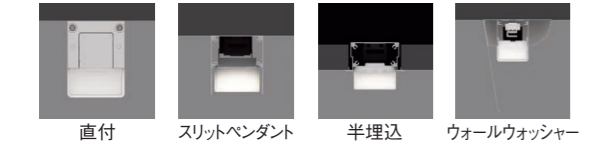




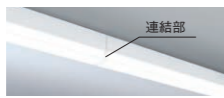
“人と地球にやさしい未来の光”=エシカルライティング。
それは数値では表せない人の心理や身体への影響を考慮した光環境、照明手法、光の質・・・を創造してゆくもの。
ENDOは、その実現を支えるツールやテクノロジーを統合した「エシカルネットワークソリューションズ」を通じ、
光とエネルギーの有効活用を社会に提案して参ります。

LEDZ Linear series 建築にとけ込む光。ミニマムかつシームレスなラインベースライト

天井造作に応じて選べる器具バリエーション
LEDZ Pro.2 カタログ P478~

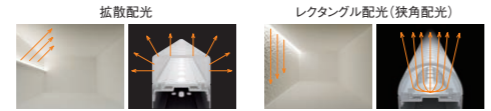


側面まで光る器具デザインは、器具を連結した際も継ぎ目に暗がりが出ず、美しい光のラインが得られます。



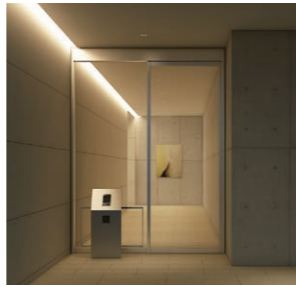
照射面に継ぎ目の影が出ない、屋内外で美しい間接照明
LEDZ Pro.2 カタログ P422~(屋内) P468~(屋外)

選べる配光・光色。



●6000K ●3500K 調光調色 快適調色
●5000K ●3000K (6000K - 2500K) (3000K - 2000K)
○4000K ○2500K

屋内外でイメージを統一した照明計画が可能です。

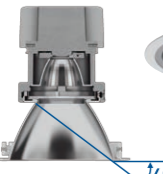


屋内用と同等の光学性能を持った屋外用を多数ラインナップ。

LEDZ GLARE-LESS series 不快なグレア*を抑制。まぶしくない、目にやさしい光。

LEDZ Pro.2 カタログ P58~(ベース、ウォールウォッシャー) P218~(ユニバーサル) P736~(軒下用)

空間に合わせて点灯感が選べるコーンバリエーション



仰角30~40°の人の視線に光が差し込まない設計です。



点灯感が無く、周囲環境にとけ込むコーン。 薄いマット仕上げでほのかな点灯感。しっとり落ち着いた印象のコーン。 点灯感を全く感じさせない完全グレアレスコーン。

屋内から軒下/ベースからウォールウォッシャーまで、連続した空間デザインが可能

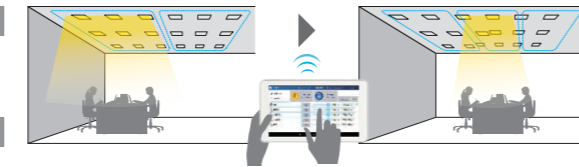


Smart LEDZ SYSTEM 信号線を必要としない“無線調光システム”用途やニーズに合わせて、光を思いどおりに。

LEDZ Pro.2 カタログ P640~

工事不要のかんたんグループ設定変更

タブレットを用いた設定変更で、照明をコントロールするグループを変更できます。グループ変更のためにユニットの増設や照明器具の再設定は不要です。

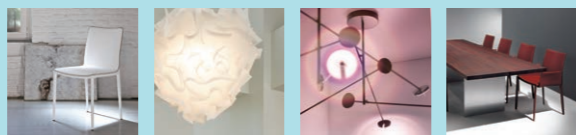


小規模空間のシーン操作もかんたん

会議室・執務室や商談室のシーン切り替え操作がかんたんに設定(設置)できます。



光とインテリアの融合を通して、新しいシーンを提案



照明器具867点/家具292点 掲載

& LEDZ WORKS

2018 WINTER LED 照明事例集

アクティビティ・ベースド・ワーキング 特集号

- 01 赤城乳業
- 02 KPMG イグニション東京
- 03 公益財団法人 JKA
- 04 長谷工コーポレーション
- 05 SUPPOSE DESIGN OFFICE 「社食堂」
- 06 DRAFT
- 07 乃村工芸社 RESP project

アクティビティ・ベースド・ワーキング (ABW: Activity Based Working)とは?
集中したい時、発想を刺激したい時、知識を共有したい時など、仕事内容にあわせて、働く場所や時間を自由に選択する働き方のこと。

ENDO LIGHTING CORP.
www.endo-lighting.co.jp

01 赤城乳業 本社 R&D FUTURE LABO

DATA
所在地：埼玉県深谷市
竣工：2018年4月
施主：赤城乳業株式会社
設計：プランス株式会社
施工：戸田建設株式会社



Interview

イノベーションが生まれる 環境を目指して 形・光・色彩で遊び心を表現

プランス株式会社
執行役員・チーフクリエイティブディレクター 福田 和将 様



3F ミーティングスペース



私たちプランスは、日本で唯一の研究専門の建築・インテリアの設計事務所です。「イノベーションを生み出す環境づくり」をミッションに、人の心を動かす空間デザインにこだわってきました。アイスの「ガリガリ君」などを製造する赤城乳業の本社・研究所デザインにおいても、継続的なイノベーションの創出を促進すべく、多様性に富んだ空間づくりを追求しています。日本のオフィスでは、机も椅子も均一に並んだ真っ白で画一的な環境が一般的です。しかし、そのような管理型のオフィスでは、活発な意見交換は行われにくく、創造性が十分に引き出されません。変化に富んだ空間のシーンがあれば、それが刺激となって発想が切り替わり、斬新なアイデアが生まれやすくなります。そこで、部屋によって天井の高さ、広さ、照明や色彩も異なる、遊び心が溢れる環境を作ることを考えました。

照明は“気分”をデザインするための大切な要素

それぞれの空間に変化をつける際、インテリア以上に重要となるのが照明です。天候によって、明るく晴れていると元気になり、曇っていると気持ちがどんよりするように、照明の光も人の気分々に大きな影響を与えます。そのため、やる気を高めたい時、リラックスしたい時など、多様な“気分”をデザインすべく、スペース毎に光の使い方や色温度、照明の大きさ・形・テイストなどを変えてみるなど、一つひとつシミュレーションを重ねながら照明計画を練りました。その甲斐あって、社員の方々は、時にはカジュアルな雰囲気でもワイワイと prest、時には一人で集中…というようにスペースを使い分けながら、楽しく仕事をされているようです。また、これらの照明が、夜になると、氷の粒をモチーフにした形も大きさも異なる窓から街を照らします。

1F エントランスロビー



レイナーカラーのファサードと合わせて、バラエティ豊かなアイスが詰まった家のような外観は、「あそびましょ。」を企業スローガンに掲げる赤城乳業らしさを体現し、創業の地である深谷の街を盛り上げるシンボルとなっています。



2F ラウンジ カフェ・会議室・小上がりのオープンルームなど、様々なしつらえが用意されている。

3F オフィス全景 奥にミーティングエリアが見える。真ん中には会話生まれやすいセミクローズなコピー機がまとめられている。

氷をモチーフとした外観/レイナーカラーのファサード。



■使用器具

2F ラウンジ
スポットライト



ERS3796B
○電球色(3000K)
861lm 10.0W

3F ミーティングスペース (星空天井)
特注ユニバーサルダウンライト (PWM電源加工)



ERD2470W-P
○ナチュラルホワイト(4000K)
2071lm 21.8W



ERD2438W-P
○ナチュラルホワイト(4000K)
1287lm 13.4W



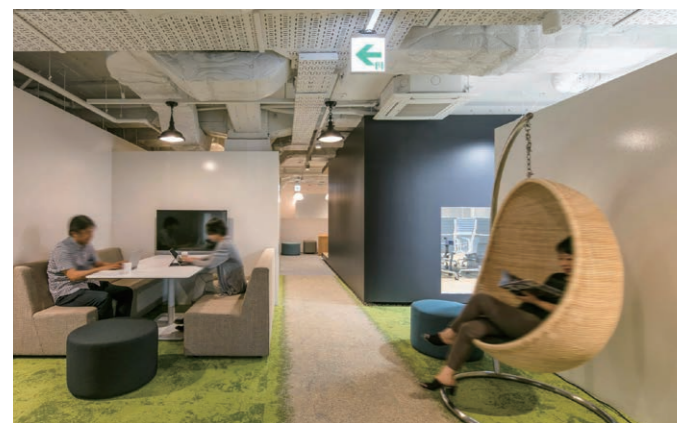
ERD2412W-P
○ナチュラルホワイト(4000K)
532lm 6.1W

02 KPMG イグニション東京

DATA
 所在地：東京都千代田区
 竣工：2018年6月
 施主：KPMGジャパン
 設計：株式会社ミダス



インサイトセンター
 2500Kから5000Kまで光の色を可変できる調光調色器具を採用。
 無線調光システムのシーンセクターリモコンで光を調整できる。



オープンオフィスの中にミーティングルームやブースをランダムに点在させることで
 隙間空間が多数生まれた。偶然の出会いから生まれるコミュニケーションを狙っている。



既存ビルの天井が低いのでスケルトン天井とし、ランドマーク的に意匠器具を設置。
 和やかさや議論をかわす雰囲気を作りだしている。



Interview

「数寄屋オフィス」をコンセプトに イノベーションとコミュニケーションを促進

株式会社ミダス デザインチーム 倉品 正伸 様



KPMGジャパンは、世界4大国際会計事務所の一つKPMGの日本におけるメンバーファーム。この施設は、そのデジタル部門を強化し、企業のデジタルトランスフォーメーションを促進する開発拠点となります。グランドコンセプトは、多様な得意分野を持つ人材が集まってシナジーを生み、イノベーションを起こすこと。内装には「ジャパニテイストを取り入れたい」というオーダーがありました。そこで、和風建築史の中で最もイノベティブだった数寄屋建築のエッセンスを随所に取り入れられました。漆喰の壁や花鳥風月をモチーフにしたミーティングルームや茶室、月見台のようなスペースが特徴です。また、桂離宮のように様々な機能をモザイク状に点在させ、人が出会いやすく、立ち止まって会話が生まれやすいゾーニングに注力しました。部屋をランダムに配置し、その隙間をすべて通路にしたのもそのためです。T字路や十字路をオフィス全体に散りばめ、照明で裏通りのような明暗を演出。路地裏の雰囲気を出しています。座って話せる場所や立ち話できるスペースをいたるところに作り、そこで出会った人たちがすぐコミュニケーションを始めやすい環境にしました。

照明が空間の雰囲気を伝えるランドマークとして機能

今回、照明をランドマーク的に機能させ、大きく二つにカテゴリライズして空間の雰囲気を変えました。一般的なオフィスにはないクリエイティブな空間にしたいというご要望があったので、ベースの照明は配線ダクトレールとスポットライトで構成。コラボレーションやミーティングの機能を持つエリアにはペンダントライトを採用しました。暖かい光の電球色で議論が進みやすい空間にしたいという意図もあります。「インサイトセンター」では深い洞察が生まれるような環境を実現するため、調光調色のできる照明システムを導入しました。使用目的に応じて、ユーザーが光環境を自由にコントロールされることを期待しています。お客様はハイレベルなデザイン性を望まれていて、照明器具にも独自のこだわりがありました。照明は無意識に視界に入り、空間の印象を大きく左右するものです。その点、遠藤照明の製品はデザイン性に優れており、お客様のニーズに応えるものに仕上がったと思っています。

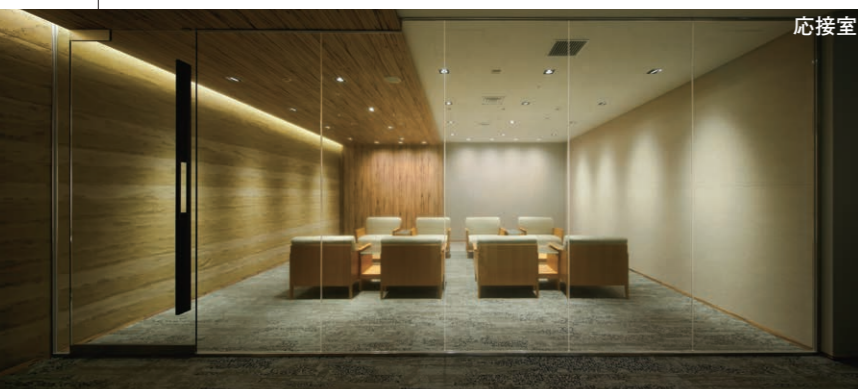
■使用器具		
Smart LEDZ RX-383N (タッチパネル式タブレット型コントローラ) RX-266W (ゲートウェイ)	シーンセクターリモコン RX-342N 最大4シーン切替 調光 100%、0% 切替 1ゾーン当り最大リモコン 10台登録可能	インサイトセンター 調光調色スクエアベースライト ERK9874W □無線調光：昼白色(5000K)～ 電球色(2500K) 236～10150lm 3.4～87.9W
イノベーションラボ スポットライト ERS4688WA ○温白色(3500K) 1374lm 25.1W	ペンダントライト ERP7172M ○電球色(2700K) 528lm 10.0W	ペンダントライト XRP6031M ○電球色(2700K) 230lm 5.0W



エントランス

03 公益財団法人JKA 統合移転プロジェクト

DATA
 所在地：東京都港区
 竣工：2017年9月
 施主：公益財団法人JKA
 設計：株式会社ザ・デザイン・スタジオ
 施工：大成建設株式会社
 電気工事：株式会社関電工
 撮影：荒木文雄



応接室



執務室



会議室

Interview

照明、形、高さなど様々なアプローチによる 場づくりで、コミュニケーションを活性化

株式会社ザ・デザイン・スタジオ
 シニア・プロジェクト・デザイナー 小山 晃司 様



JKAは競輪とオートレースという二つの公営競技を統括し、その収益を地方自治体の財政健全化や様々な事業の振興に役立てる公益財団法人です。もともと別々の団体が一つになったという経緯もあり、オフィスは数か所に分かれていましたが、コミュニケーションの活性化を図るため、統合することになりました。今回の内装で最もこだわったのは、エントランスです。バンクを力いっぱい駆け抜けるというシーンを形にし、レース場に共通する空気感を再現しました。照明の光源は意外と目立ちます。そのためここでは、全体的に落ち着きのある空間の中で、見せたいものに集中させることを狙いグレアレスダウンライトを使用しました。また、バンクのR状のラインを照らすためにダウンライトの付け方を工夫したところ、光の濃淡が生まれ躍動感が出ました。予想以上の効果に、改めて光のおもしろさを実感しています。

合することになりました。今回の内装で最もこだわったのは、エントランスです。バンクを力いっぱい駆け抜けるというシーンを形にし、レース場に共通する空気感を再現しました。照明の光源は意外と目立ちます。そのためここでは、全体的に落ち着きのある空間の中で、見せたいものに集中させることを狙いグレアレスダウンライトを使用しました。また、バンクのR状のラインを照らすためにダウンライトの付け方を工夫したところ、光の濃淡が生まれ躍動感が出ました。予想以上の効果に、改めて光のおもしろさを実感しています。

照明効果で空間に目に見えないゆるやかな壁を作り、変化をもたらす

オフィス内は「コミュニケーション」というテーマのもと、三つのレイヤーに分かれています。ちょっとした立ち話ができるミーティングスペースを窓際に配し、ゆっくり座って話せるリフレッシュスペースを二か所、さらに、しっかり議論できる会議室を設けています。会議室の照明には電球色3000Kのベース照明に加え、テーブルミーティングをしっかりと実施できるよう、中央のテーブル面を照射する温白色3500Kのペンダントを設置しました。また、執務室には、大きなリングペンダントライトを採用し、全体の執務エリアが白色光なのに対し、ここは色温度を温白色(3500K)とすることで、ほっこりとした柔らかい空間を演出しています。床から跳ね返った光で天井面もほどよく照らされ、それがアイキャッチとなって他とは異なる印象を与えています。オフィスでコミュニケーションを生み出すには、多様性のある場づくりが必要です。形、高さ、色、景色、音など様々なアプローチを活かして、照明が目に見えないゆるやかな壁の役割を果たして、シームレスな空間に変化をもたらしてくれます。その役割は非常に重要だと思っています。

■使用器具		
会議室 特注ラインペンダント 	会議室 グレアレス ベースダウンライト 	エントランス グレアレス ウォールウォッシャー ダウンライト 
○温白色 (3500K) 19.6W PWM調光	ERD5349W+RX366N ○電球色 (3000K) 1269lm 20.3W 専用別置電源ユニット PWM調光	ERD5366W+RX366N ○電球色 (3000K) 976lm 13.9W 専用別置電源ユニット PWM調光
執務室 建築造作リングペンダント(内蔵) 	応接室 特注ムービングジャイロシステム 	
ERX9440NA ○温白色 (3500K) 928lm 7.8W	ERS3699BA+ B664BA (1灯用ハウジング) ○電球色 (3000K) 1204lm 13.4W (配光(47°)加工・PWM電源加工)	



1Fラウンジ

ポタニカルガーデンを中心に、多様な打ち合わせテーブルが配置されている。昼間は2面全面から太陽光が差し込む。天井面のスポットライトはオプションレンズを使い分け、ラウンジ内の場に応じた光を照射している。中央のポタニカルガーデン部分はスプレッドレンズで光を効果的に横に広げ、自然光のようなフラットな光で植栽を印象的に表現。周囲の打ち合わせスペースは、ディフュージョンレンズでやわらかな光を投じている。



Interview

訪れる人にインスピレーションを与え
新しいワークイメージをもたらす空間へ



SL&A Japan Inc.
プロジェクトデザイナー 連 智香子 様

既存の自社ビルの20年ぶりのリニューアルに当たり、1階と2階の改装を行いました。施主からのリクエストには、新卒採用の社員や若い世代の人たちに、長谷工コーポレーションという企業に新しいイメージを持ってもらいたいという思いが強くありました。そこで、目指したのは、デスクが整然と並んでいる従来のオフィスの打ち合わせスペースの概念を覆し、訪れる人にインスピレーションを与えてくれるような新しいワークイメージをもたらす空間です。そのため、生木・石・左官壁など、ローマテリアルを随所にちりばめて、気づきや会話が生まれるようなことを狙いました。建設の企業ですので、扱っている素材の風合いを大事にして空間をつくることに特に注力しました。

素材の持つ本来の魅力を光によってシンプルに表現

1階は、改装前までは真ん中に大きな段差があって、使いづらい空間でした。そこで、あえて中央にポタニカルガーデンを設けて、その周りに丸テーブル、ハイテーブル、長机など、複数のタイプの打ち合わせ空間を配置しています。これにより、来るたびに違ったイメージを抱いてもらえることを意図しました。また、天井がCH=2,600mmと低いため、天井面を黒くしてアコースティックルーバの中に空調や照明器具を隠すことで、天井や機器の存在感を弱めています。2階の会議スペースは、既存部との調和を考えながら、既存と同じ素材や仕上げを工夫しつつ、今までとは違った使い方をすることで、コントラストをつけすぎずに新鮮な雰囲気を出演。全体的には「木」を基調にした温かみのあるデザインで、和の雰囲気とモダンな印象を併せ持つハイグレードな空間に仕上げました。照明には、グレアレスダウンライトと間接照明を多用し、照明器具の存在感を弱くし、素材の色やテクスチャーを光によってシンプルに表現しています。色温度3500Kはプレゼン当初、施主側には不安の声も少しありましたが、実際の光の印象を体感して納得いただけました。



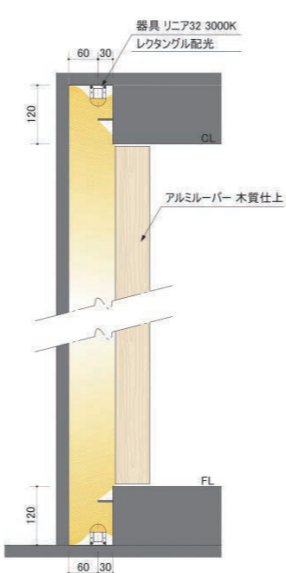
2F グレアレスダウンライトで構成された会議室。机上面の照度がしっかりと確保されるとともに、天井面・壁面に明るさ感がとられている。

04 長谷工コーポレーション 本社

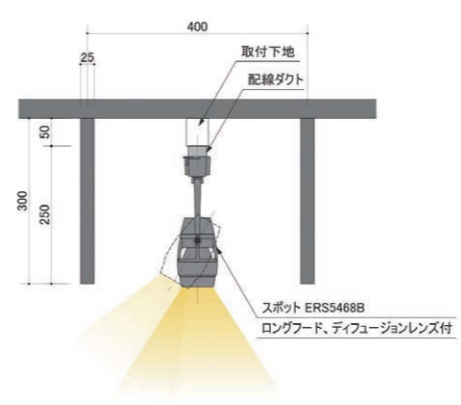


2F モルーパーの奥上下に照明器具を配置。左官処理されたニュアンスのある壁面をやさしく照らしている。

2F モルーパー
間接照明施工寸法図



1F アコースティックルーバ内
スポットライト施工寸法図



DATA
所在地：東京都港区 竣工：2018年6月
施主：株式会社長谷工コーポレーション
設計：SL&A Japan Inc. 施工：株式会社長谷工リフォーム
電気工事：六興電気株式会社

■使用器具		
1F ラウンジ スポットライト	1F ラウンジ スポットライト	1F ラウンジ スポットライト
		
ERS5531B RB617F+RB623B ○温白色 (3500K) 739lm 12.7W ●RB617F ディフュージョンレンズ ●RB623B ロングフード	ERS5468B RB617F+RB623B ○温白色 (3500K) 1309lm 20.6W ●RB617F ディフュージョンレンズ ●RB623B ロングフード	ERS5461B RB621F+RB623B ○温白色 (3500K) 1387lm 20.6W ●RB621F スプレッドレンズ ●RB623B ロングフード
2F グレアレスベースダウンライト	2F モルーパー上下 間接照明 レクタングル配光	2F ソファ部分 間接照明 拡散配光
		
ERD5347W+ RX-367N (専用別置電源ユニット) ○温白色 (3500K) 958lm 13.9W PWM調光	ERK9710S+RAD678L ○電球色 (3000K) 1340lm 11.5W 	ERX9637S ○電球色 (3000K) 1026lm 22.7W 

05 SUPPOSE DESIGN OFFICE 東京事務所 社食堂

DATA
所在地：東京都渋谷区
竣工：2017年4月
施主：SUPPOSE DESIGN OFFICE Co.,Ltd.
設計：SUPPOSE DESIGN OFFICE Co.,Ltd.

Interview

「働く」ではなく「過ごす」場所として オフィス空間に新しい価値観を提供

サポーズデザインオフィス
共同代表 / 建築家 谷尻 誠 様



私たちが考えるオフィスは、「働く」場所というより「過ごす」場所、生活する場所です。昔の日本では、家の軒先で商売をするなど、住まいと仕事場が同居していました。それがいつの間にか明確に分けられました。その分、効率は図られました。随分つまらなくなった気がします。東京事務所では「分けない」ことが、テーマの一つでした。仕事する、休む、食事する、コミュニケーションをとる…そこに境界線がない空間をつくりました。「社食堂」にしたのは、スタッフの健康のためです。私たちの身体の細胞は、日々の食事からつづられます。健康的な食事が健康な細胞をつくり、健康な思考、アイデアを生み出す。だからスタッフにはきちんとした食事を摂ってほしい。そんな想いから「細胞からデザインする」という「社食堂」のコンセプトが生まれました。また、書籍が並ぶ棚はライブラリーでもあり、アートが展示された壁はギャラリーでもあります。オフィスに打ち合わせに来た人がアートに出会ったり、食事を楽しんだり、思いがけない体験をすることも。発想の種を生む化学反応が、ここで起きています。

一日の流れに合わせて光と音をコントロール

「過ごす」場所として考えれば、照明は主張しない方がいいですね。太陽光のような心地よさを感じる光環境が理想です。「社食堂」の照明は天井への間接照明とスポットライトで構成されていますが、昼間は白っぽく明るめとし、夕方以降は間接照明の明るさを落とすなど、自然光の一日のリズムに合わせて光をコントロールしています。実はBGM音楽も、朝は澁刺と活動できるような曲、昼はテンションが高くなる曲というように一日の流れを考慮して選曲しているんです。光と音は近い関係で、そのコンディションに応じて、静かに集中したいとか、活動的になりたいとか意識も変化します。特に光環境は、明るいと活発に会話するし、暗いといひそひそと話すように、人間の行動や心理に大きな影響を与えています。照明も「働く」場所としてだけでなく、自分らしく「過ごす」場所として、ふさわしいあり方を考えるべきだと思っています。



井の頭通りに面したビルの地下1階に位置する
撮影：新建築社 写真部



撮影：新建築社 写真部

地下の「社食堂」へ



撮影：伊藤徹也

オフィスの中にあるギャラリーと社食堂
近隣の方がLUNCHやお茶を飲んだり、打合せが行われたりしている。



撮影：新建築社 写真部

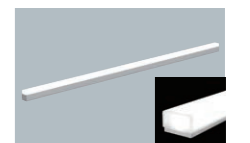
「社食堂」で提供されている定食(おかん料理)



撮影：伊藤徹也

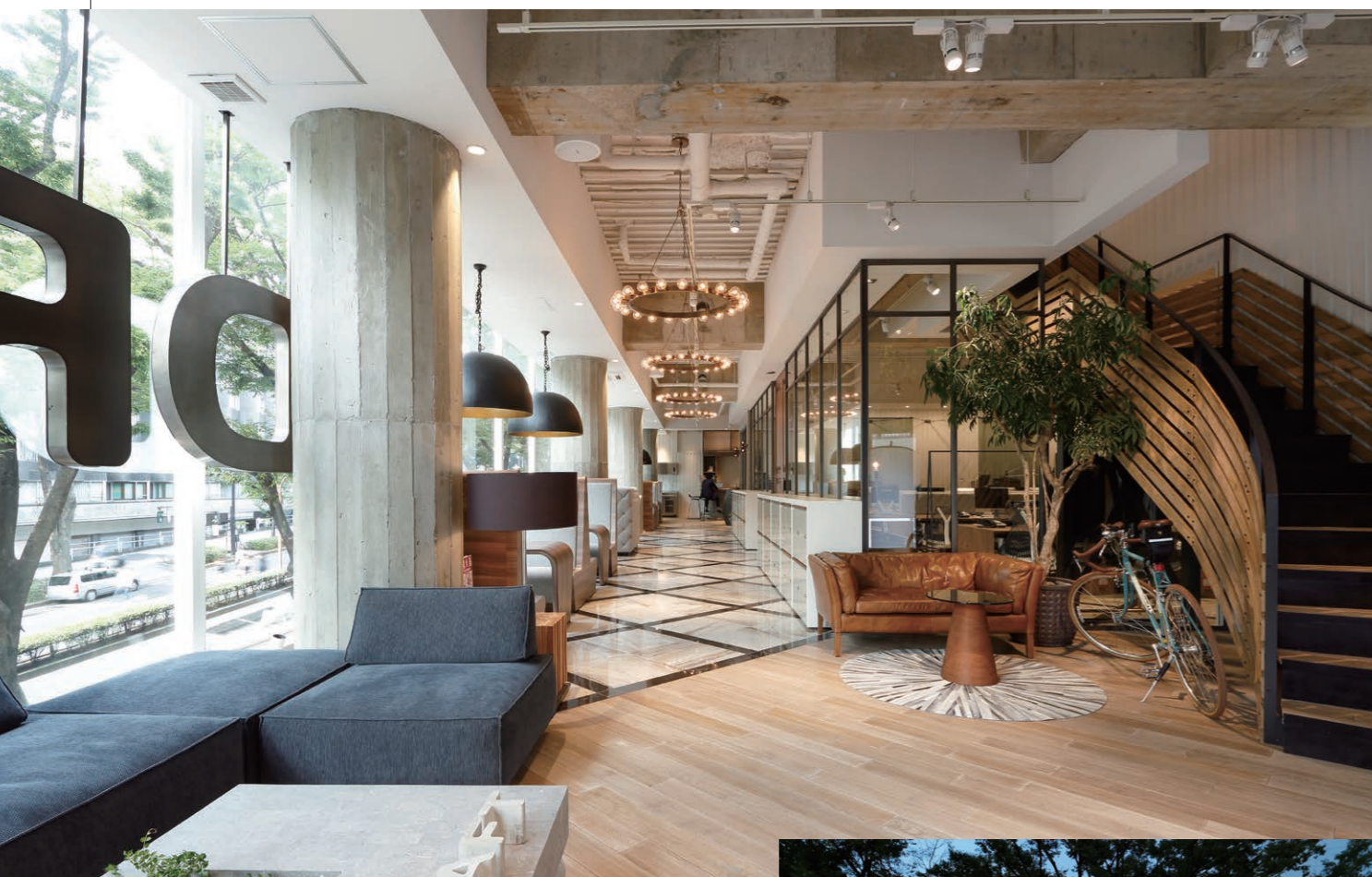
■使用器具

間接照明



ERK9708S+RAD684WWA
○温白色 (3500K)
2665mm 19.1W
PWM調光

06 DRAFT 東京オフィス・大阪オフィス



東京 オフィス

DATA
所在地：東京都渋谷区
竣工：2016年10月
施主：DRAFT Inc.
設計：DRAFT Inc.

DRAFTオリジナルデザインの打ち合わせテーブルと大ぶりのペンダントがオープンな中でも集中できる要素を創っている。



大きな窓と天窓から太陽の光を感じる3F設計セクション。壁面には明るさ感もしっかりと確保されており、室内が外の明るさと比較して暗い印象は受けない。街路樹と自然光を感じながら設計業務ができる。



他ブース間との壁が曲線でゆるやかに仕切られているプロダクトブランド「201」の集中ブース「COOM」。



■使用器具 東京オフィス
ベース照明



ERS3698BA
B-665BA (2灯用ハウジング)
○温白色 (3500K)
1243lm 13.4W

Interview

デザインと照明で 新しい働き方を提案 もっと心地よく、 幸せになれる場所へ

DRAFT Inc.
インテリアデザイナー /
CEO 山下 泰樹 様



オフィスは働く人がとても長い時間を過ごす場所です。その空間が、しっかりとデザインされた心地よい環境であれば、人はもっと幸せになれるというDRAFTのフィロソフィー「ALL HAPPY BY DESIGN(デザインで人を幸せにする)」をオフィスのデザインにも反映させて、新しい働き方を提案しています。自社オフィスもその考えのもとデザインしました。東京オフィスのコンセプトは「ニュートラル」です。あらゆるデザインの要望に応えられることを体現すべく、イメージが固定されないよう、モダン、カジュアル、ナチュラルなどの異なるスタイルをあえてミックスさせました。働く側の実感としても、フリーアドレスで、集中ブースやボックスシート、カフェスペースなど多彩なエリアがあることで、その時の気分に応じたワークスタイルを選べるので、仕事の効率が上がったと思います。

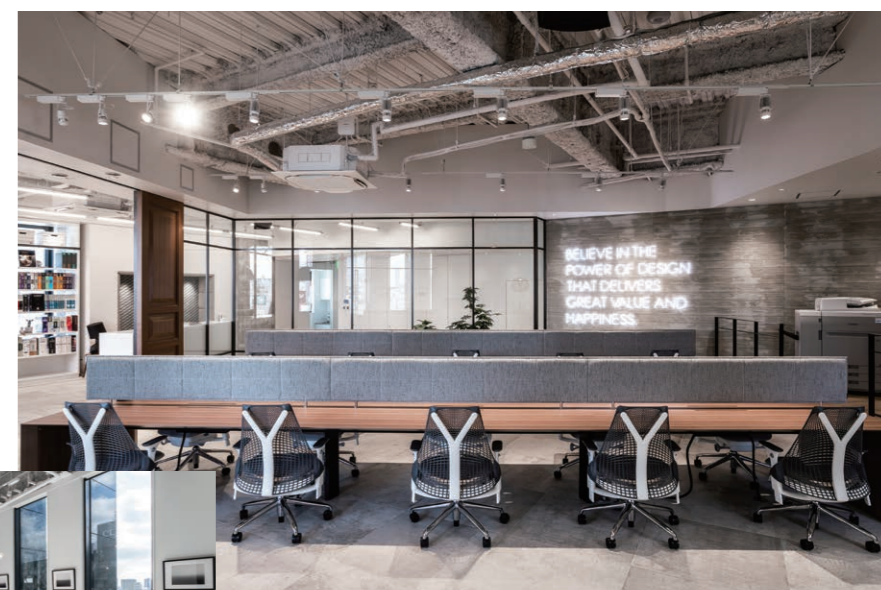
ダウンライト・スポットライトをメインに、 空間演出の幅を広げる

照明には電球色系のダウンライト・スポットライトを多用しています。オフィスで一般的な均質な白い光は、みんなが同じように働くための色なので平坦な印象になりがちです。一方、ダウンライトやスポットライトを使うと雰囲気演出する幅が広がります。ただ、店舗と違ってオフィスの照明は、雰囲気を出すために明かりを絞り過ぎると逆に仕事がしづらくなる面もあるので、そのバランス調整が難しいと感じています。今回は色温度にこだわり、白過ぎず、黄色過ぎない温白色(3500K)を選びました。もはやオフィスは、単に働くための場所ではありません。肩の力を抜いて自分らしく、「暮らすように働く」ことが理想です。例えば、閉鎖的なオフィス空間の中であっても、照明の光の変化によって、一日の動きや季節の移ろいを感じられるようになれば、より良い働き方を実現できるのではないかと考えています。



大阪 オフィス

DATA
所在地：大阪市中央区
竣工：2018年5月
施主：DRAFT Inc.
設計：DRAFT Inc.



■使用器具 大阪オフィス

SmartLEDZ



RX-383N
(タッチパネル式タブレット型コントローラ)
RX-266W (ゲートウェイ)

シーンセクターリモコン



RX-342N
最大4シーン切替
調光100%、0%切替
1ゾーン当り最大リモコン10台登録可能

ベース照明



ERK9010N
RAD-530WWB
○温白色 (3500K)
2922lm 20.7W

スポットライト



ERS5953W
○温白色 (3500K)
2293lm 37.4W

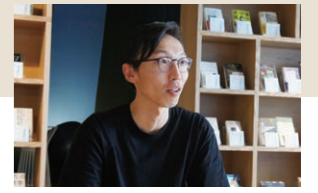
07 乃村工藝社 RESP project

DATA
所在地：東京都港区
竣工：2018年6月
施主：株式会社乃村工藝社
設計・施工：株式会社乃村工藝社



Interview 5つのテーマによる光環境とゾーニングで 社員のリセット・スペースをデザイン

株式会社乃村工藝社
クリエイティブ本部 デザイン4部 デザイナー
山野辺 学 様



今回、「リセット」をコンセプトに、自社オフィスの4階を社員のリフレッシュやコミュニケーションを促すスペースに改装しました。リセットの仕方は人それぞれで、同僚と会話をしてリセットする人もいれば、おいしいものを食べたり体を動かしたりして気持ちを切り替える人もいます。そこで、多様なニーズに対応できるように、「会話」「食事」「リラックス」「運動」「集中」の5つのテーマでゾーニングし、デザインすることにしました。例えば、集中エリアには個室、リラックスエリアにはくつろげるソファ、運動エリアには卓球台や雲梯などを設置しています。また、空間を作って終わりではなく、活発なコミュニケーションやクリエイティブな発想が生まれる仕掛けも重要です。本棚に社員オスメの本を並べて会話の糸口を作ったり、壁に設置したモニターに最新のトレンドワードや会社に関するキーワードを次々に表示させて、意外な言葉の組み合わせからアイデアの種が浮かぶようにしたり、常に新しい手法を試しながら、そこで得た知見をクライアントへの提案に生かせればと考えています。

執務フロアとの差別化を図り、照明でリセットを演出

執務フロアの白色光に対して、休憩スペースには電球色を選びました。落ち着いた気分になり、照明によってもリセットができるようにしています。また、エリアごとに電球色から温白色の間ではありますが色温度や照度を変えて、個室であれば集中力を高められるように手元を明るく照らし、ソファスペースは間接照明を用い、落ち着いた雰囲気にするなどの工夫も加えました。タブレットを使って無線で調光できるSmart LEDZは、クライアントに提案する際の参考にしたいというデザイナーチームの意見で導入し、様々な使い方を模索しています。今はセミナー時などの用途に合わせて明るさを変えていますが、今後は一人ひとりのニーズに合わせて、光をその都度コントロールすることも考えています。オフィスは様々な人が同時に過ごす場所なので、自分のいるエリアの照明を自分でセレクトできるといいですね。



棚の奥には、休息できるスペースや集中できるスペースもある。



外光が大きく射し込む窓側には、卓球台やバランスボールなどが置かれている。



素材感や耐久性などを体感できる棚やテーブル面



■使用器具

 RX-383N <small>(タッチパネル式タブレット型コントローラ)</small> RX-266W (ゲートウェイ)	 ERS5490B <small>●電球色 (3000K)</small> 1260lm 21.3W	 ERS5489B <small>○温白色 (3500K)</small> 1309lm 21.3W
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------